がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコールの提出が必須です プロトコールがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	weekly-nab-PTX + weekly トラスツズマブ		
診療科名	乳腺科		
診療科責任者名	福間英佑		
適応がん種	乳がん		
保険適応外の使用	□有 ■無		
入院外来区分	■入院 ■外来		

がん治療ワーキンググループ使用欄				
登録番号	Br-062			
登録日・更新日	2020年10月27日・2024年6月25日更新			
削除日				
出典	トラスツズマブBS点滴静注用 添付文書(第5版) Clin Breast Cancer 2011;11:1			
入力者	川田 暁			

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	12 3 100 - Hay 1 (par 1 - 1))					
	薬剤名:一般名 (薬剤名:商品名) 希釈液	規格	投与量算出式	投与経路	投与時間	施行日
No.1	トラスツズマブ(遺伝子組換え) (トラスツズマブBS点滴静注用)	60mg、150mg	4mg/kg(初回)	□IV ■DIV □CV □側管 □その他()	90分	Day1
	生理食塩液	250mL	-			
No.2	トラスツズマブ(遺伝子組換え) (トラスツズマブBS点滴静注用)	60mg、150mg	2mg/kg (2回目以降)	□IV ■DIV □CV □側管 □その他()	90分 * 1	Day1
	生理食塩液	250mL	-			
No.3	アルブミン懸濁型パクリタキセル (アブラキサン点滴静注)	100mg	100mg/ m i	□IV ■DIV □CV □側管 □その他()	30分	Day1
	生理食塩液	100mL	-			

1コースの期間	7日		
投与間隔の短縮規定	■短縮可能(1日)・□短縮不可能		
計算後の投与量上限値	110%		
計算後の投与量下限値	50%		
減量・中止基準	・トラスツズマブ 【中止基準】 EF<50% ・nab-PTX 【延期基準】以下のいずれかに該当するとき ANC<1,500/ μ L 末梢神経障害(Grade3以上) ・末梢神経障害はGrade1以下に改善するま 【減量基準】以下のいずれかに該当するとき ANC<500/mm ³ 3(7日間以上継続) Plt<5万/mm ³ 条熟性好中球減少症 末梢神経障害(Grade3以上) AST<330U/L かつ 1.25mg/dL <t-bil≦2mg d<br="">AST<330U/L かつ 2mg/dL<t-bil≦5mg dl<br="">【中止基準】以下のいずれかに該当するとき AST>330U/L T-Bil〉5mg/dL</t-bil≦5mg></t-bil≦2mg>	/dLのとき	
催吐性リスク	軽度 制吐療法は「がん化学療法における制吐療法の標準化」を参照する		
前投薬	例外としてデキサメタゾンではなくグラニセトロン()		
支持療法(その他)	なし		
その他の注意事項	・トラスツズマブ EF50%未満の場合適応不可 術前・術後薬物療法の場合には、投与期間は12カ月間までとする。 相かはないにの系の薬剤を含むレジメンとの併用不可(例:FEC、EC、AC) 初回導入時は投与前、4 カ月後、8 カ月後に 心エコーにてEFをチェックする。 再導入時は 2 コース毎に心エコーにてEFをチェックする。 ・nab-PTX適応条件 アルコールアレルギーを有する患者(自動車での通院などの社会的背景も考慮可能) パグリタキセル(タキソールなど)投与によりクレモホールによるアレルギー歴を有する患者 クレモホールによると考えられる重篤な末梢神経障害を有する患者 インラインフィルターの使用禁止		